

# 2016-2020年度 中期経営計画 「バリュークリエーション2020」

## PUNCH SPIRIT

～創業者精神への回帰～

2016年3月11日



**パンチ工業株式会社**

(証券コード: 6165 東証第一部)

# 目次

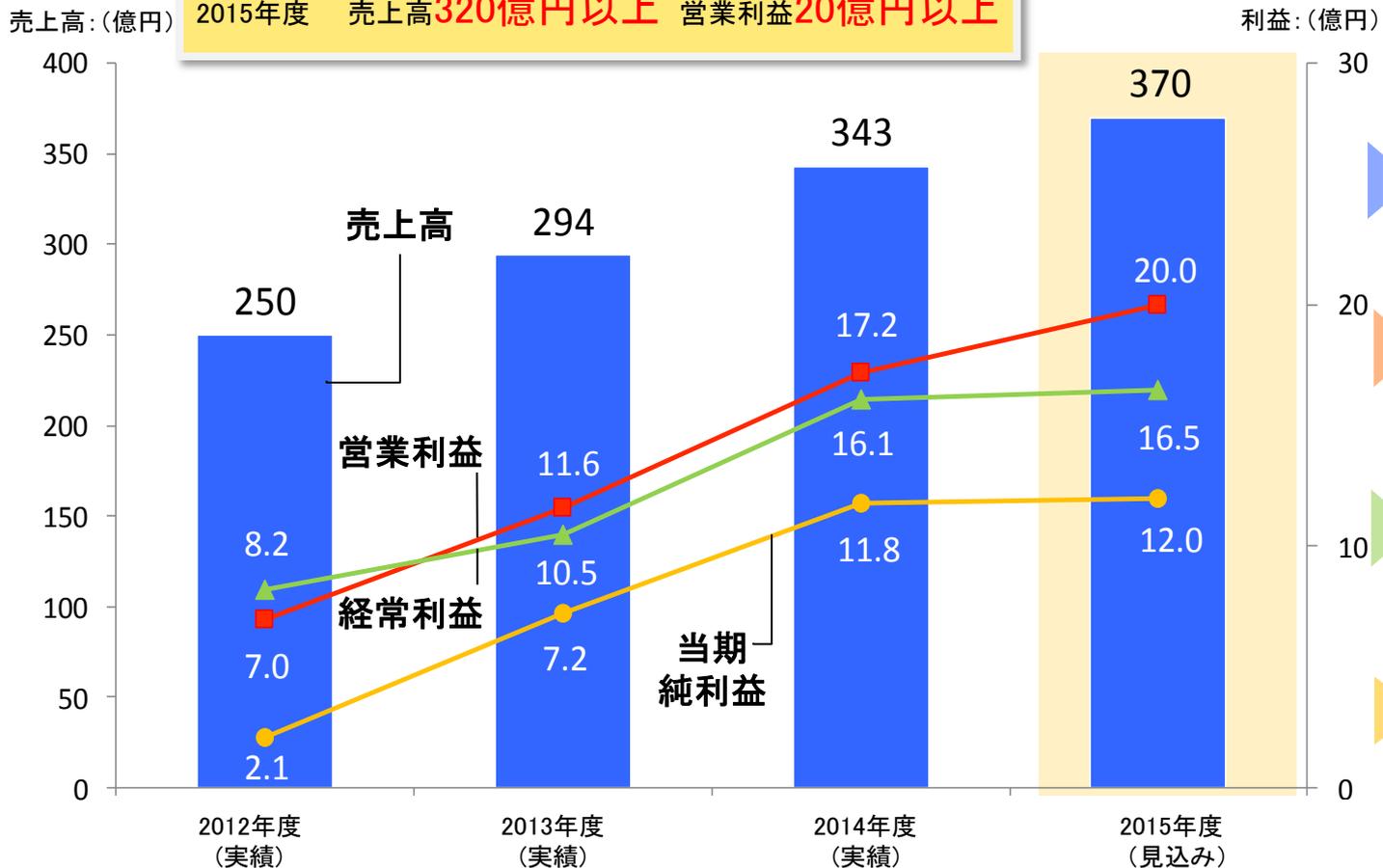
---

- バリュークリエーション15の総括
- バリュークリエーション2020の骨子
- バリュークリエーション2020の施策
- バリュークリエーション2020の経営目標
- トップメッセージ

# バリュークリエーション15の総括

# 業績評価

2015年度 売上高**320億円以上** 営業利益**20億円以上**



2012年度 VS 2015年度見込み

- 【売上高】  
増減 +120億円  
年率 13.9%UP
- 【営業利益】  
増減 +12億円  
年率 41.4%UP
- 【経常利益】  
増減 +8億円  
年率 26.1%UP
- 【当期純利益】  
増減 +9億円  
年率 77.9%UP



【ROE】  
+3.7pt

2015年3月 公募増資実施の影響

# 施策評価

## グローバル化

インド、東南アジア、  
欧米市場の開拓

- ◎M&A実施、生産能力・市場を獲得(東南アジア)
- ◎販路確保(欧州)
- ◎事業基盤確立(インド)

## 新市場の開拓

未開拓・新分野への  
取組み

- ◎AS9100を認証取得
- ◎未開拓分野でのマーケティング
- ◎新分野でのターゲット先の明確化

## 高収益事業 モデルへの転換

国内外事業の  
収益力改革

- ◎研究開発体制の確立(全体)
- ◎高付加価値製品の拡販(日本)
- ◎戦略製品拡充(中国)
- ◎超硬製品事業の拡大(東南アジア)

## 為替の影響

売上  
計画1年前倒し  
為替影響で底上げ



利益  
計画は未達成  
為替影響で押し下げ



# バリュークリエーション2020の骨子

# 連動する「バリュークリエーション」の重点経営課題

バリュークリエーション15

グローバル化

新市場の開拓

高収益事業  
モデルへの転換

バリュークリエーション2020 “2020年にありたい会社像”

販売5極体制の確立

- ・欧米での販売体制確立
- ・5極販売のグローバル企業

お客様サービスの向上

- ・お客様から支持される企業
- ・技術力の向上

高収益事業の推進  
R&D強化

- ・高付加価値製品の拡充
- ・原価低減(ものづくり改革)

働き方改革

- ・業務効率の向上
- ・最適なワークライフバランス
- ・ダイバーシティの実現

パンチスピリット ～創業者精神への回帰～  
チャレンジ × 創意工夫 × 自由闊達

## パンチスピリット ～創業者精神への回帰～

### チャレンジ

未知の領域にチャレンジすることを通じて、  
自己の成長と社会への貢献を果たす

### 創意工夫

あらゆる仕事に創意工夫を凝らし、  
夢の実現に向けて粘り強く困難を克服していく

### 自由闊達

一人ひとりの個性や多様性を尊重し、  
自由闊達で活力にあふれた職場を共につくる

## “世界のパンチ”へ

世界5極体制の構築  
日本、中国、東南アジア・インド、欧州、米州

■意識改革  
「ものづくり」「売り方」

■仕組み改革  
「働き方」「人事制度」

■風土改革  
「企業風土」

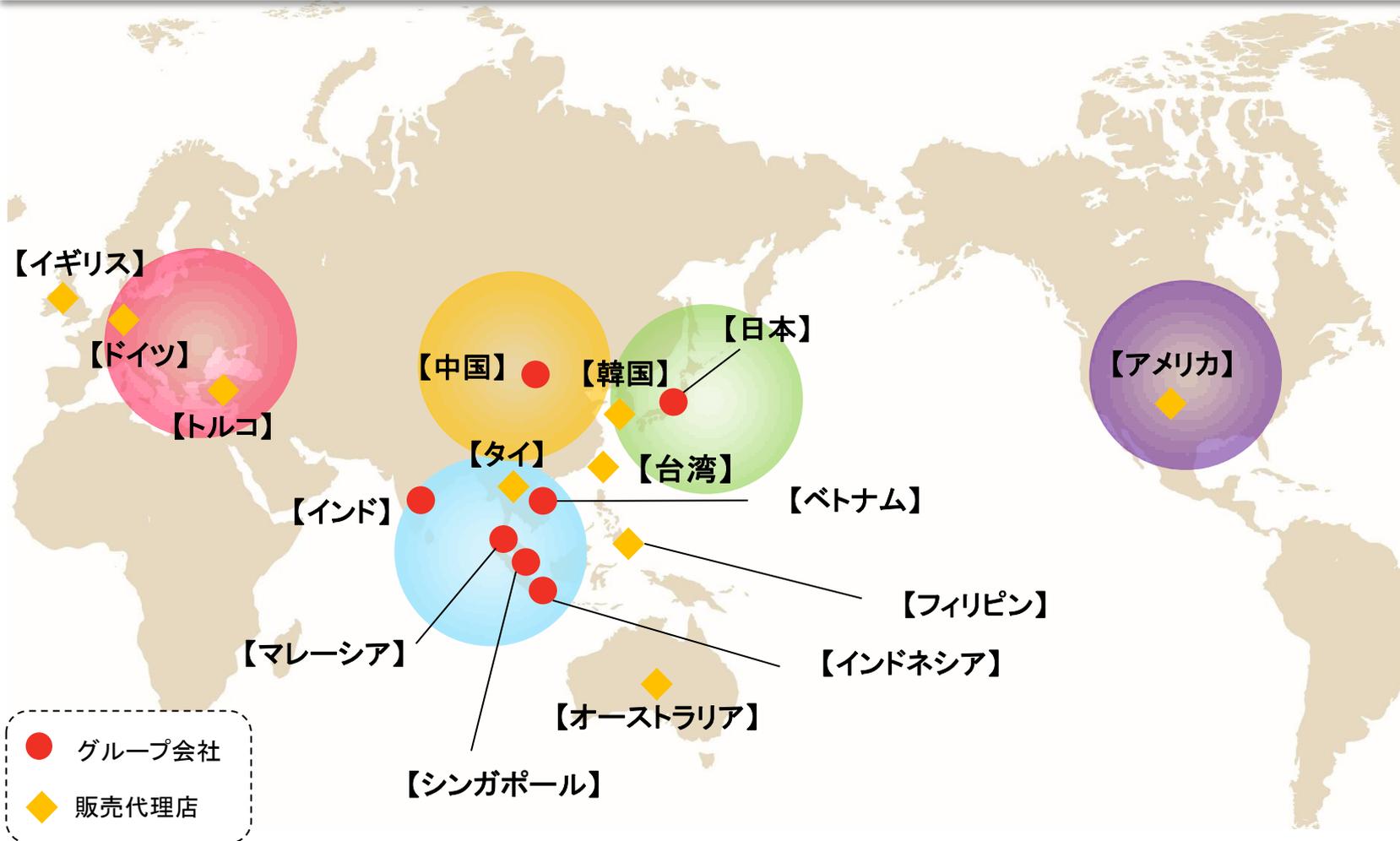
# バリュークリエーション2020の基本戦略

	日本	中国	東南アジア インド	欧州	米州
販売5極体制				販売体制確立	
お客様サービスの向上	グローバルソーシング(最適調達) グローバル企業との取引拡大				
	リバースエンジニアリング				
高収益事業の推進	カタログ品 & 特注品の生産体制再編 ・ベトナム工場操業開始 ・日本、中国での特注品生産の拡充 ・金型用部品の全世界供給				
R&D強化	食品関連の強化 航空宇宙産業関連へ進出				
	医療関連の拡販				
働き方改革	社員重視の経営・組織力の強化 グローバル人材の育成				

# バリュークリエーション2020の施策

# 販売5極体制

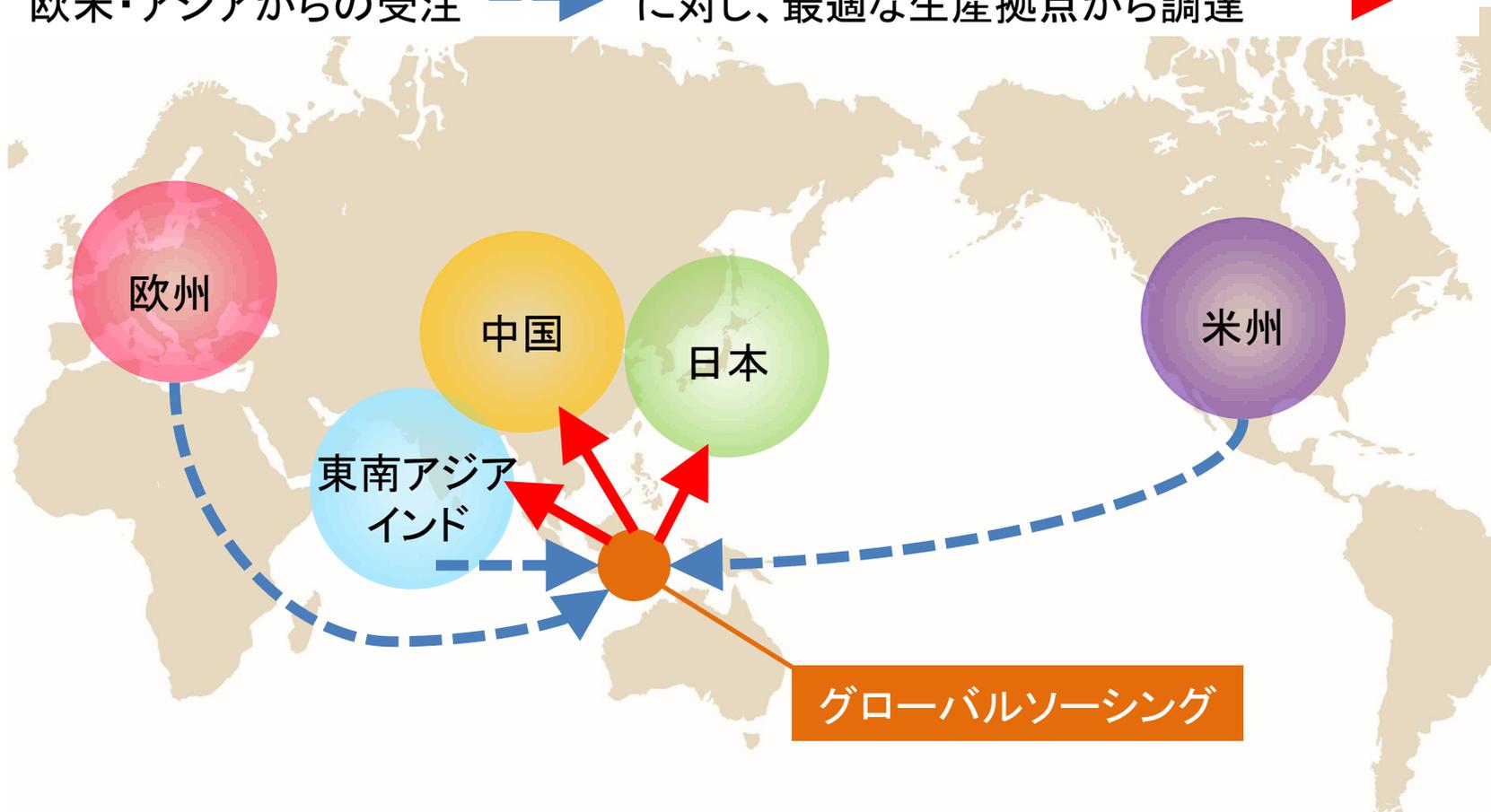
アジア集中から欧米エリアでの販売体制確立



# お客様サービスの向上①

グローバルソーシング(最適調達)によるお客様満足度の向上

欧米・アジアからの受注  に対し、最適な生産拠点から調達 



## お客様サービスの向上②

リバースエンジニアリングによるお客様の課題解決

ものづくり  
企業

金型メーカー

金型用部品  
メーカー

お客様が抱える課題

金型メーカー・金型用部品メーカーの  
統廃合による図面の消失

パンチグループが  
金型用部品を復刻

# 高収益事業の推進

ベトナム工場を起点としたグループ生産体制の最適化

投資による助走期間  
(2016年度～2018年度)

グループ新生産体制の本格始動  
(2019年度～ )

① ベトナム工場の操業開始

① ベトナム工場の生産能力強化

② 日本生産拠点の原価改善

② 日本生産拠点内での生産移管

③ 中国生産拠点内での生産移管

③ 日本生産拠点の特注品生産を強化

コスト低減とリスク分散により、圧倒的な高収益化を実現

# R&D強化

景気変動を受けにくく、将来の拡大が見込まれる業種との取引拡大

注)3つの画像は、全てイメージ画像です

食品関連



医療関連



航空宇宙産業関連



研究開発投資、設備投資、認証取得による対応

# 働き方改革

社員重視の経営による組織力の強化

「ものづくり」を変える

金型用部品の提供を通じて世の中を便利にする

「売り方」を変える

売しやすい物ではなく差別化された物売る

「働き方」を変える

効率改善・生産性向上を意識した働き方に変える

「企業風土」を変える

良い会社になるために自ら考えて行動する

「人事制度」を変える

グローバル人事、人材育成制度を強化する



# バリュークリエーション2020の 経営目標



# 経営目標①段階別の売上・利益

グループ新生産体制の本格始動  
(2019年度～)

【2020年度 計画】

**売上高** 470億円以上  
**営業利益** 33億円以上  
**当期純利益** 23億円以上

販売

日本・アジア・欧米の販売強化

優位性

特注品受注の獲得強化

投資による助走期間  
(2016年度～2018年度)

【2018年度 計画】

**売上高** 420億円以上  
**営業利益** 25億円以上  
**当期純利益** 17億円以上

生産

2016年秋に稼働するベトナム工場の早期基盤化

グループ  
体制

研究開発の実効性引き上げとマーケティング機能の強化

【2015年度 見込み】

**売上高** 370億円  
**営業利益** 20億円  
**当期純利益** 12億円

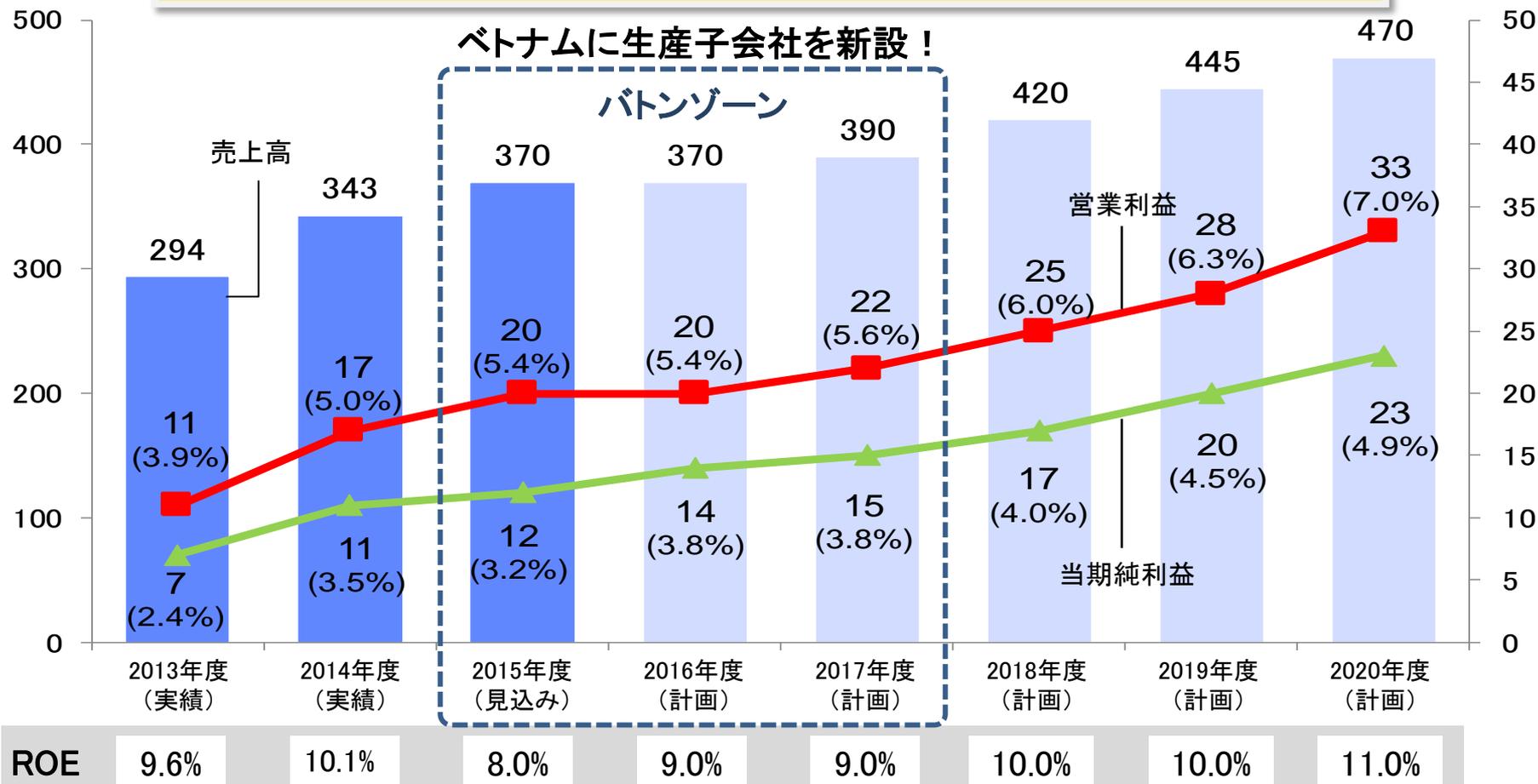
# 経営目標②売上・利益の推移

2020年度

売上高470億円以上 営業利益33億円以上 当期純利益23億円以上

売上高:(億円)

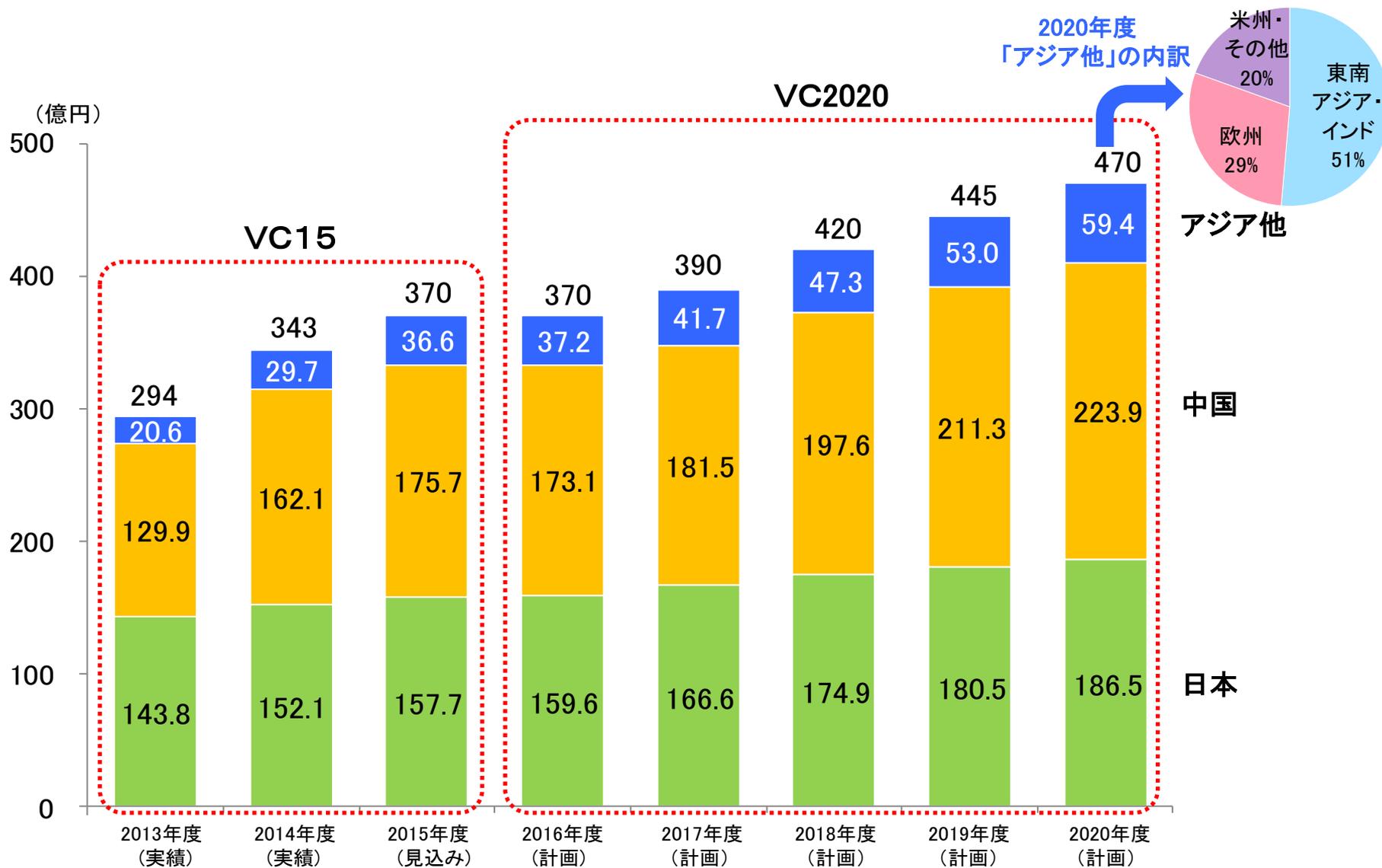
利益:(億円)



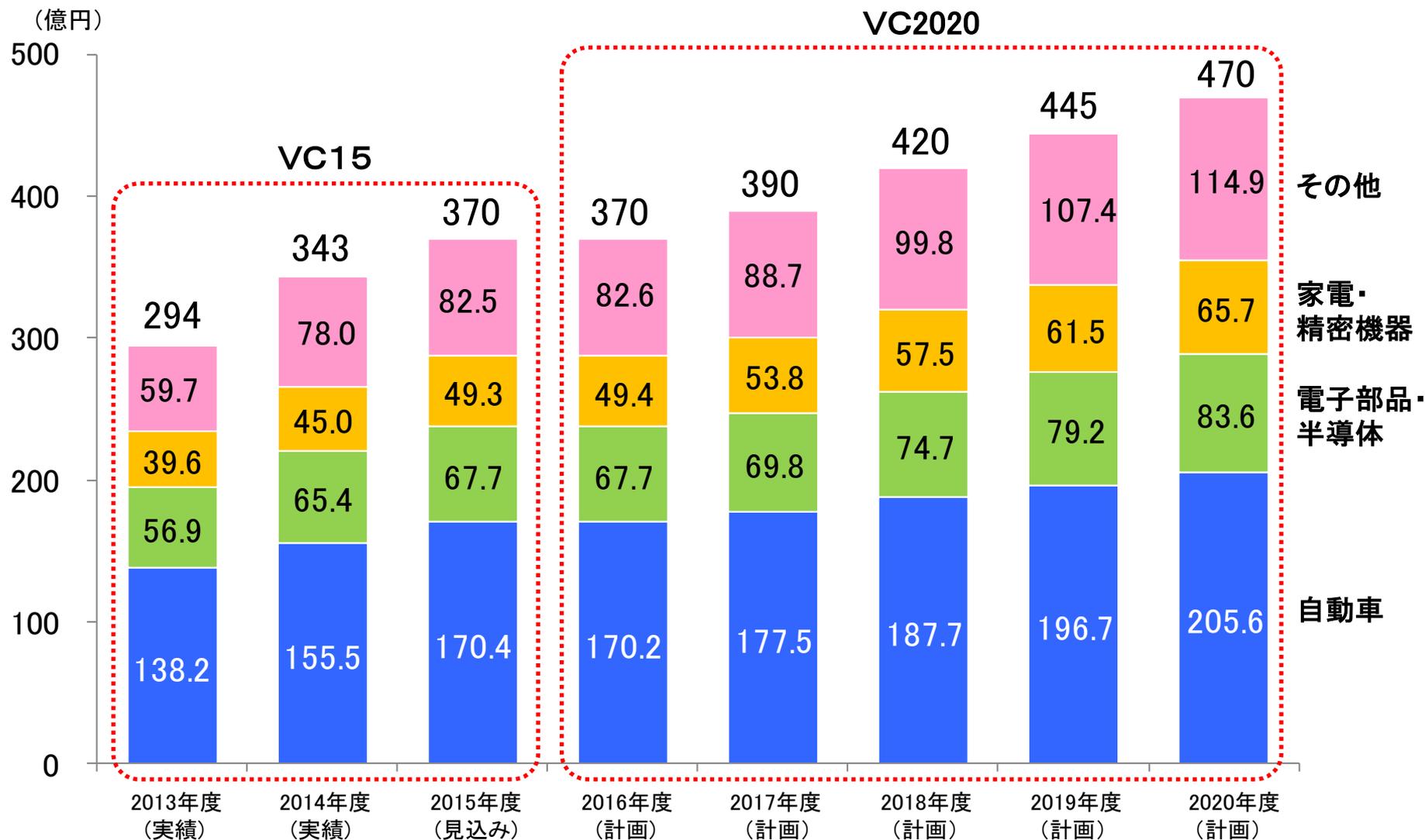
バリュークリエーション15

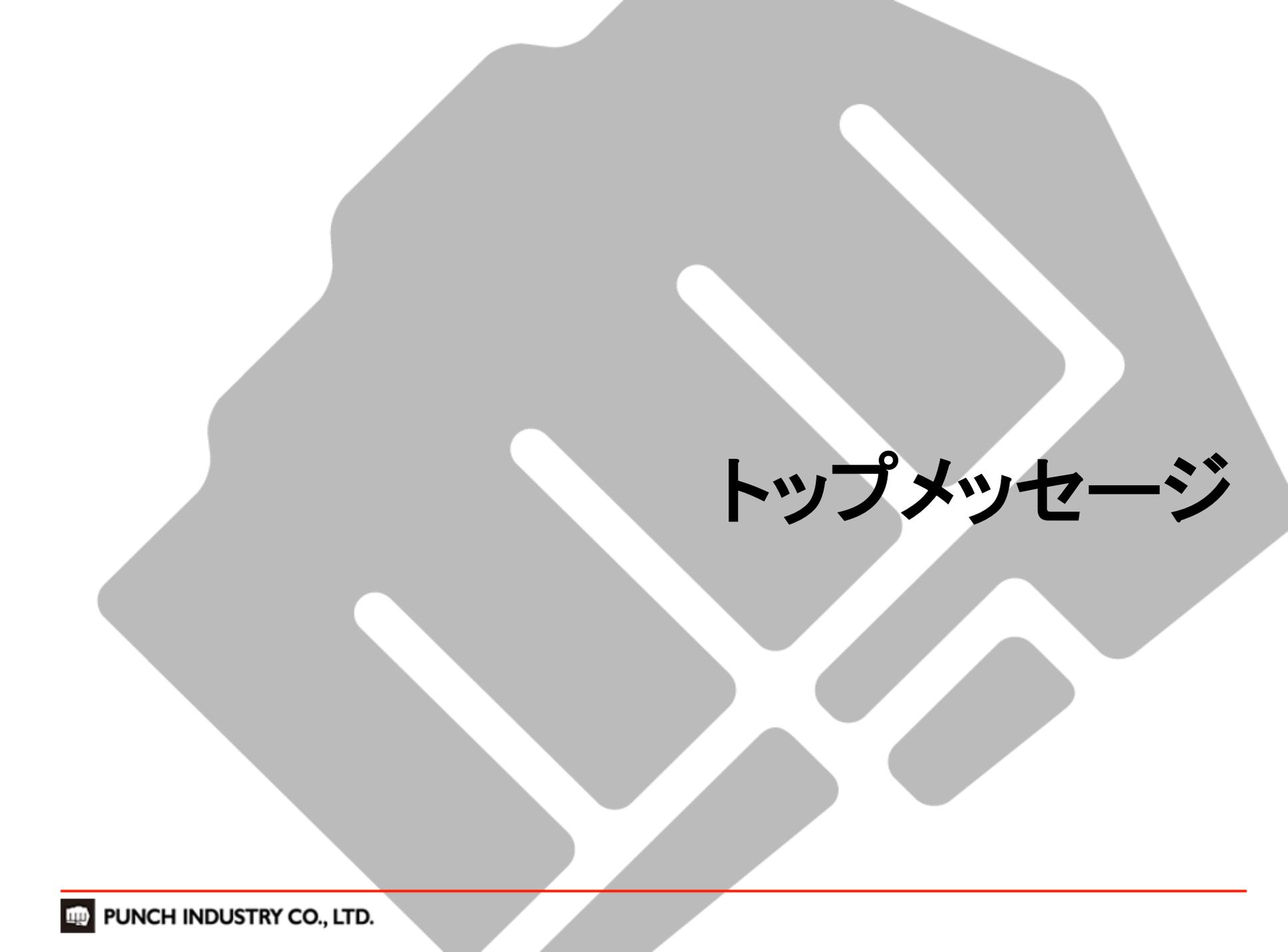
バリュークリエーション20

# 地域別売上高



# 業種別売上高



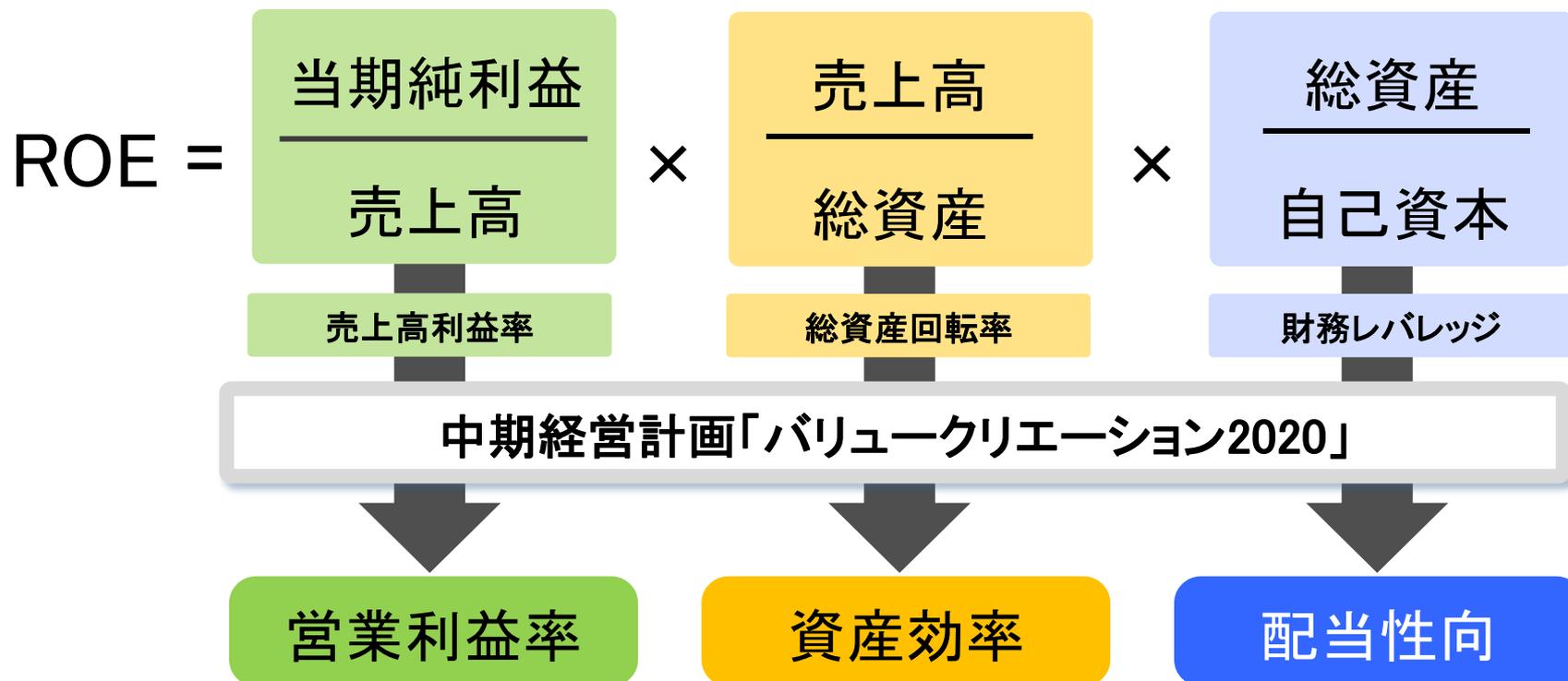


# トップメッセージ



# 株主還元方針の考え方について

持続的な企業価値の向上をより確実なものとするために



## 【配当方針】

安定かつ継続的な配当に加え、業績連動により連結配当性向30%を目標。

# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

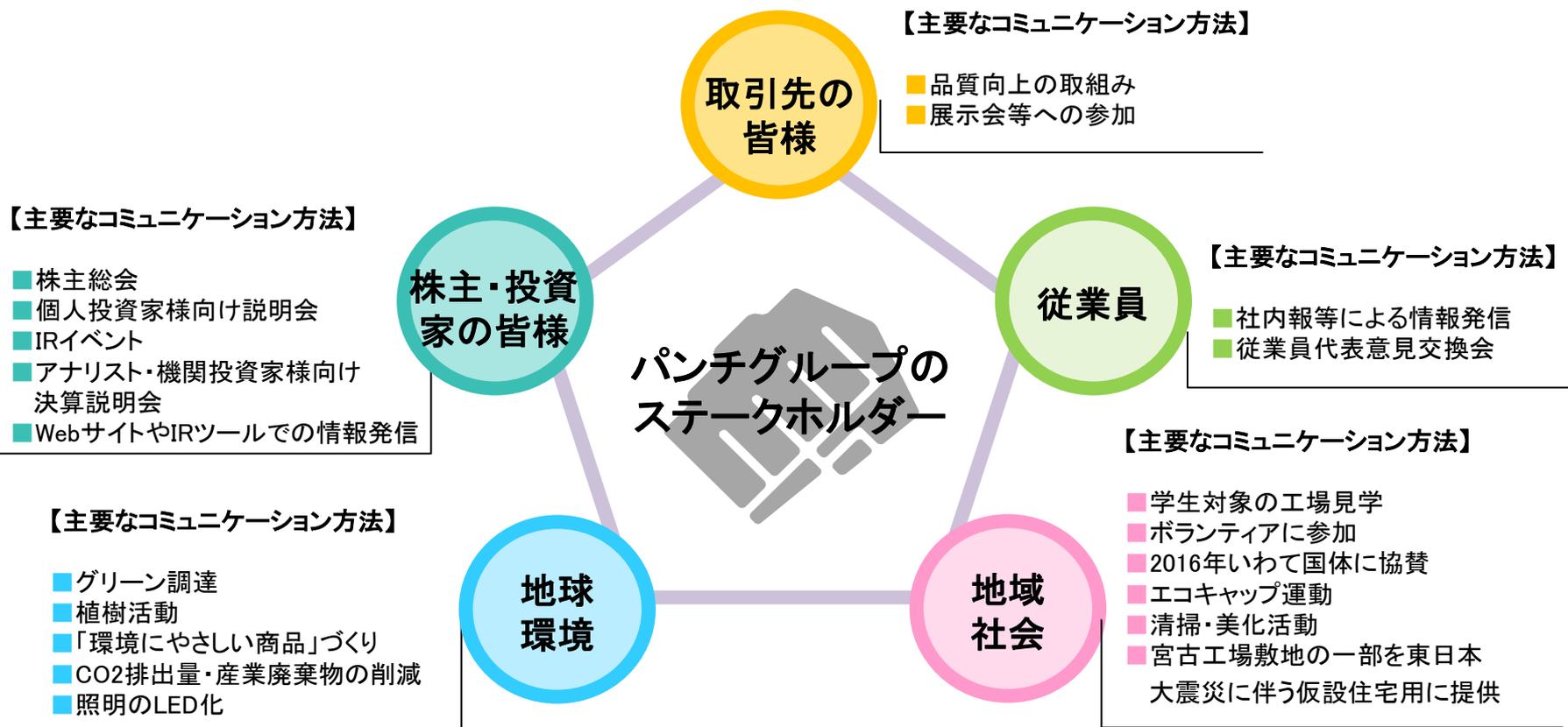
## 企業ビジョン



## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す

# ステークホルダーとのコミュニケーション



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動



【いわて北上マラソン】  
マラソンボランティアの様子

# コーポレート・ガバナンス強化への取り組み

パンチグループが目指すガバナンス体制

「経営」と「監視・監督」の分離

経営陣の迅速・果断な意思決定

全員一丸となった企業価値の向上



本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課 電話:03-5460-8237 e-mail:info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。  
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。